臺灣總督府
中央研究所

農業部彙報

第五十三號

肉豚の種類別飼養試驗成績

臺灣總督府中央研究所

本彙報は目下本島に於て奬勵しつゝある「バークシャー」種と本島在來種竝に兩者間の一代雜種とにつき肉豚の發育試驗を行へる比較成績を記述せるものにして本成績は試驗材料其他の關係上完璧を期し難きも本島養豚事業の參考資料とするに足るべきを信じ玆に印刷に附す

昭和二年九月

臺灣總督府中央研究所農業部長
農學博士 大島金太郎

臺灣總督府中央研究所 農業部彙報 第五十三號

肉豚の種類別飼養試驗成績 目次

一 緒言 …… 一
二 供試豚 …… 二
三 飼料及飼養法 …… 三
四 管理 …… 一一
五 生體重の秤量 …… 一三
六 增體重と飼料價格及澱粉價 …… 一八
七 屠殺及解體 …… 二三
八 結論 …… 三〇
寫眞圖版

肉豚の種類別飼養試驗成績

技手　佐土原喜熊

一　緒言

本試驗の目的は、現今本島に於て奬勵しつゝある「バークシャー」種と本島在來種（桃園種及小耳種―小耳種とは從來小形種と稱したるものなり―）並に是等兩者間の一代雜種の五種類につき、肉豚として何れが經濟的價値を有するやを究め養豚家の參考に資せんとするにあり。

之が爲本試驗に使用したる飼料の如きも本島何れの地にても得易き甘藷及甘藷蔓を基礎とし、之に大豆粕を配合したるものを用ひたり。茲に唯遺憾とするは、試驗材料の都合上各種類の試驗時期及其頭數同一ならざる爲、聊か正鵠を失するの嫌なきに非らざるも其大體を察知するに難からざるべし。

試驗の方法は、生後同一飼養管理を行ひたるものにつき生後七箇月目より規定の飼料を與へ、五箇月間飼養し、最終八週間肥育法を施して其發育狀態並に飼料消費量を調査したる後、屠殺解體の上屠體各部の重量及肉質脂肪の性狀等につき比較研究をなせり。

試驗豚の飼料はケルネル氏肉豚の飼養標準に基き給與したり。

肉豚の種類別飼養試驗に關しては元臺灣總督府農事試驗場特別報告第七號養豚試驗成績の中に發表されたるものあるも、該試驗成績に於ては之に使用したる飼料の種類分量等明記なき爲、參考用として聊か不備の點なきにしも非ず且肉豚の發育は飼料の種類により異なるを以て、本試驗は前記の如く飼料の種類を定めて更に施行したるものなり。

二　供試豚

本試驗に供したる豚は左記の五種類にして、各種類共同腹のもの〻中、發育狀態同一にして且健康なるものを選びたり。

種類	番號	性	生年月日	產地	去勢年月日
バークシャー種	一號	劗	一四年、一月、四日	當部	一四年、四月、四日
同	二	同	同	同	同
同	三	⿰犭奄	同	同	同
同	四	同	同	同	同
桃園種	五	劗	一一、一〇、三一	同	一二、一、三一
同	六	⿰犭奄	同	同	同
小耳種	七	劗	一三、九、一四	同	一三、一二、一四
同	八	⿰犭奄	同	同	同
同	九	同	同	同	同
同	一〇	同	同	同	同
同	一一	同	同	同	同
同	一二	同	同	同	同
バークシャー桃園一代雜種	一三	劗	一二、六、六	同	一二、九、六
同	一四	⿰犭奄	同	同	同
バークシャー小耳一代雜種	一五	劗	一四、九、二九	同	一四、一二、二九
同	一六	同	同	同	同
同	一七	同	同	同	同
同	一八	同	同	同	同
同	一九	⿰犭奄	同	同	同
同	二〇	同	同	同	同

備考　一、雜種は凡て父を「バークシャー」種、母を在來種とす。
　　　二、以下バークシャー桃園一代雜種は桃園雜種、バークシャー小耳一代雜種は小耳雜種と記載することゝせり。

三　飼料及飼養法

本試驗に供したる飼料の可消化養分竝に配合法は左の如し。

（一）飼料の可消化養分含有量（百分中）

飼料名 ＼ 可消化養分	固形物	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	澱粉價
甘藷	二四・一	〇・八	〇・二	一九・二	一九・八
甘藷蔓	二・九	〇・九	〇・二	四・四	四・七
大豆粕	八九・〇	四〇・七	四・六	二九・四	七四・九

備考　飼料の成分に就ては便宜上大豆粕は「ケルネル」氏、甘藷は一般分析表、甘藷蔓は當部分析のものによることゝせり。

(二)飼料の配合（體重一〇貫匁に對する日量）

自第一期至第二期 飼料表

飼料名	數量	固形物	可消化養分 粗蛋白質	可消化養分 澱粉價	可消化養分 粗脂肪	可消化養分 炭水化物	營養率
甘藷	九七〇匁	二三三・八匁	七・八匁	一九二・一匁	一・〇匁	一八五・三匁	ー
甘藷蔓	三〇〇	二三・八	一・八	九・四	〇・三	八・八	ー
大豆粕	八五	七五・七	三四・六	六三・七	三・九	二五・〇	ー
計	一,三五五	三三三・三	四四・二	二六五・二	五・二	二一九・一	五・二二

自第三期至第六期 飼料表

飼料名	數量	固形物	可消化養分 粗蛋白質	可消化養分 澱粉價	可消化養分 粗脂肪	可消化養分 炭水化物	營養率
甘藷	九〇〇匁	二一六・九匁	七・二匁	一七八・二匁	〇・九匁	一七一・九匁	ー
甘藷蔓	三〇〇	二三・八	一・八	九・四	〇・三	八・八	ー
大豆粕	七六	六七・六	三〇・九	五六・九	三・五	二二・三	ー
計	一,二七六	三〇八・三	三九・九	二四四・五	四・六	二〇三・〇	五・三五

自第七期至第一〇期 飼料表（肥育前期）

飼料名	數量	固形物	可消化養分 粗蛋白質	可消化養分 澱粉價	可消化養分 粗脂肪	可消化養分 炭水化物	營養率
甘藷	九七〇匁	二三三・八匁	七・八匁	一九二・一匁	一・〇匁	一八五・三匁	ー
甘藷蔓	一四〇	一六・七	一・三	六・六	〇・三	六・三	ー
大豆粕	一〇〇	八九・〇	四〇・七	七四・九	四・六	二九・四	ー
計	一,二一〇	三三九・五	四九・八	二七三・六	五・九	二二〇・九	四・六九

自第一一期至第一四期 飼料表（肥育後期）

飼料名	數量	固形物	可消化養分 粗蛋白質	可消化養分 澱粉價	可消化養分 粗脂肪	可消化養分 炭水化物	營養率
甘藷	八〇〇匁	一九二・八匁	六・四匁	一五八・四匁	〇・八匁	一五二・八匁	ー
甘藷蔓	一五〇	一七・九	一・四	七・一	〇・二	六・六	ー
大豆粕	八〇	七一・二	三二・六	五九・九	三・七	二三・五	ー
計	一,〇三〇	二八一・九	四〇・四	二二五・四	四・七	一八二・九	四・七九

備考　自第一期至第六期各期は半月（但第六期に限り期日の都合上十九乃至二十一日としたり）自第七期至第十四期各期は七日と定めたり以下之に準ず。

飼料の調理及給與の方法は全期を通じ一樣にこれを行ひ、毎日これを秤量せり。而して甘藷及甘藷蔓（一寸内外に截りたるもの）は之を煮熟し、大豆粕は之を碎き一日間水に浸して軟かになしたるものを各々混和して濃厚なるものとなし、給與に際し微温湯にて適度に之を稀釋したる後給與せり。

試驗豚に給與したる配合飼料の毎期一日分量は其期の初めに於て秤量したる體重により算出給與したるも採食の狀態並に體勢等により多少參酌加減せり。今各區に給與したる飼料の毎期に於ける一日の給與量及其總量を擧ぐれば左の如し。

(三) 飼料給與量

(イ) バークシャー種 (四頭分)

期次	月日（大正十四年）	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	毎期總給與量 甘藷	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 大豆粕
第一期	七・六―七・二〇	四、三〇六匁	八八〇匁	三七七匁	六四、五九〇匁	一三、二〇〇匁	五、六五五匁
第二期	七・二一―八・五	四、六六五	九六二	四〇八	七四、六四〇	一五、三九二	六、五二八
第三期	八・六―八・二〇	四、九五九	一、一〇二	四一八	七四、三八五	一六、五三〇	六、二七〇
第四期	八・二一―九・五	五、五八〇	一、二四〇	四七一	八九、二八〇	一九、八四〇	七、五三六
第五期	九・六―九・二〇	六、一五六	一、三六八	五一九	九二、三四〇	二〇、五二〇	七、七八五

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	毎期總給與量 甘藷	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 大豆粕
第六期	九・二一―一〇・九	六、八一六	一、五一五	五七五	一二九、五〇四	二八、七八五	一〇、九二五
第七期	一〇・一〇―一〇・一六	八、〇八九	一、一六七	八三四	五六、六二三	八、一六九	五、八三八
第八期	一〇・一七―一〇・二三	八、五三六	一、二三二	八八〇	五九、七五二	八、六二四	六、一六〇
第九期	一〇・二四―一〇・三〇	九、〇五九	一、三〇七	九三四	六三、四一三	九、一四九	六、五三八
第一〇期	一〇・三一―一一・六	九、六〇七	一、三八六	九九〇	六七、二四九	九、七〇二	六、九三〇
第一一期	一一・七―一一・一三	八、二九六	一、五五五	八二九	五八、〇七二	一〇、八八五	五、八〇三
第一二期	一一・一四―一一・二〇	八、七三六	一、六三八	八七三	六一、一五二	一一、四六六	六、一一一
第一三期	一一・二一―一一・二七	九、〇二八	一、六九二	九〇二	六三、一九六	一一、八四四	六、三一四
第一四期	一一・二八―一二・四	九、三五六	一、七五四	九三五	六五、四九二	一二、二七八	六、五四五
計					一、〇一九、六八八	一九六、三八四	九四、九三八

備考　表中第一期より第六期までは普通飼養、第七期より第一四期までは肥育飼養とす。以下之に準ず。

(ロ) 桃園種 (二頭分)

期次	月日（大正十二年）	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	毎期總給與量 甘藷	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 大豆粕
第一期	五・一―五・一五	一、八四三匁	三八〇匁	一六二匁	二七、六四五匁	五、七〇〇匁	二、四三〇匁
第二期	五・一六―五・三一	二、一九二	四五二	一九二	三五、〇七二	七、二三二	三、〇七二
第三期	六・一―六・一五	二、四五七	五四六	二〇七	三六、八五五	八、一九〇	三、一〇五
第四期	六・一六―六・三〇	二、七〇九	六〇二	二二九	四〇、六三五	九、〇三〇	三、四三五
第五期	七・一―七・一五	二、九三四	六五二	二四八	四四、〇一〇	九、七八〇	三、七二〇
第・六期	七・一六―八・五	三、一二三	六九四	二六四	六五、五八三	一四、五七四	五、五四四

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	每期總給與量 甘藷	每期總給與量 甘藷蔓	每期總給與量 大豆粕
第七期	大正十二年 八・六—八・一二	三,六三七匁	五二五匁	三七五匁	二五,四五九匁	三,六七五匁	二,六二五匁
第八期	八・一三—八・一九	三,六三七	五二五	三七五	二五,四五九	三,六七五	二,六二五
第九期	八・二〇—八・二六	三,九九六	五七七	四一二	二七,九七二	四,〇三九	二,八八四
第一〇期	八・二七—九・二	三,九九六	五七七	四一二	二七,九七二	四,〇三九	二,八八四
第一一期	九・三—九・九	三,九九六	五七七	四一二	二七,九七二	四,〇三九	二,八八四
第一二期	九・一〇—九・一六	三,六五六	六八六	三六六	二五,五九二	四,八〇二	二,五六二
第一三期	九・一七—九・二三	三,六五六	六八六	三六六	二五,五九二	四,八〇二	二,五六二
第一四期	九・二四—九・三〇	三,六五六	六八六	三六六	二五,五九二	四,八〇二	二,五六二
計					四六一,四一〇	八八,三七九	四二,八九四

（ハ）小耳種（六頭分）

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	每期總給與量 甘藷	每期總給與量 甘藷蔓	每期總給與量 大豆粕
第一期	大正十四年 三・一五—三・三〇	二,三九六匁	四九四匁	二一〇匁	三八,三三六匁	七,九〇四匁	三,三六〇匁
第二期	三・三一—四・一四	二,六八七	五五四	二三五	四〇,三〇五	八,三一〇	三,五二五
第三期	四・一五—四・三〇	二,八八四	六四一	二四三	四六,一四四	一〇,二五六	三,八八八
第四期	五・一—五・一五	三,〇八七	六八六	二六〇	四六,三〇五	一〇,二九〇	三,九〇〇
第五期	五・一六—五・三一	三,六八五	八一九	三一二	五八,九六〇	一三,一〇四	四,九七六

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	每期總給與量 甘藷	每期總給與量 甘藷蔓	每期總給與量 大豆粕
第六期	六・一—六・一九	四,〇六二	九〇三	三四三	七七,一七八	一七,一五七	六,五一七
第七期	六・二〇—六・二六	四,九二三	七一一	五〇七	三四,四六一	四,九七七	三,五四九
第八期	六・二七—七・三	五,〇六八	七三二	五二三	三五,四七六	五,一二四	三,六六一
第九期	七・四—七・一〇	五,一七〇	七四六	五三三	三六,一九〇	五,二二二	三,七三一
第一〇期	七・一一—七・一七	五,五四四	八〇〇	五七二	三八,八〇八	五,六〇〇	四,〇〇四
第一一期	七・一八—七・二四	四,六四〇	八七〇	四六四	三二,四八〇	六,〇九〇	三,二四八
第一二期	七・二五—七・三一	四,六八四	八七八	四六八	三二,七八八	六,一四六	三,二七六
第一三期	八・一—八・七	四,七五三	八九一	四七五	三三,二六四	六,二三七	三,三二五
第一四期	八・八—八・一四	四,八七六	九一四	四八八	三四,一三三	六,三九八	三,四一六
計					五八四,八二七	一三三,八一五	五四,三七六

（ニ）桃園雜種（二頭分）

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	每期總給與量 甘藷	每期總給與量 甘藷蔓	每期總給與量 大豆粕
第一期	大正十二年 一二・七—一二・二二	二,〇三七匁	四二〇匁	一七九匁	三〇,五五五匁	六,三〇〇匁	二,六八五匁
第二期	一二・二三—十三年 一・六	二,三四一	四六二	一六六	三五,八五六	七,三九二	三,一三六
第三期	一・七—一・二二	二,三五八	五二四	一九九	三五,三七〇	七,八六〇	二,九八五
第四期	一・二三—二・六	二,八二八	五八三	二四八	四五,二四八	九,三二八	三,九六八
第五期	二・七—二・二二	二,九九三	六六五	二三三	四四,八九五	九,九七五	三,七九五
第六期	二・二三—三・二二	三,三九三	七二三	二七八	六三,五六七	一三,九〇八	五,二八二
第七期	三・二三—三・二八	四,〇〇六	七七八	四一三	二八,〇四二	四,〇四六	二,八九一

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	毎期總給與量 甘藷	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 大豆粕
第八期	大正十三年 三・一九—三・二五	四、〇〇六瓦	五七八瓦	四一三瓦	二八、〇四二瓦	四、〇四六瓦	二、八九一瓦
第九期	三・二六—四・一	四、三八〇	六三二	四五一	三〇、六六〇	四、四二四	三、一五七
第一〇期	四・二—四・八	四、五六〇	六六八	四七〇	三一、九二〇	四、六七六	三、二九〇
第一一期	四・九—四・一五	三、八六四	七二四	三八六	二七、〇四八	五、〇六八	二、七〇三
第一二期	四・一六—四・二二	四、〇七二	七六三	四〇七	二八、五〇四	五、三四一	二、八四九
第一三期	四・二三—四・二九	四、〇七二	七六三	四〇七	二八、五〇四	五、三四一	二、八四九
第一四期	四・三〇—五・六	四、〇七二	七六三	四〇七	二八、五〇四	五、三四一	二、八四九
計					四八五、七一五	九二、九七六	四五、三三九

(ホ) 小耳雜種 (六頭分)

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	毎期總給與量 甘藷	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 大豆粕
第一期	大正十五年 三・三一—四・一五	五、八五〇瓦	一、二〇六瓦	五一二瓦	九三、六〇〇瓦	一九、二九六瓦	八、一九二瓦
第二期	四・一六—四・三〇	六、四二〇	一、三二四	五六三	九六、三〇〇	一九、八六〇	八、四四五
第三期	五・一—五・一五	六、七八六	一、五〇八	五七三	一〇一、七九〇	二二、六二〇	八、五九五
第四期	五・一六—五・三〇	七、三三五	一、六三〇	六一九	一一〇、〇二五	二四、四五〇	九、二八五
第五期	五・三一—六・一五	七、九二〇	一、七六〇	六六九	一二六、七二〇	二八、一六〇	一〇、七〇四
第六期	六・一六—七・四	八、八一五	一、九五九	七四三	一六七、四八五	三七、二二一	一四、一一七

期次	月日	一日給與量 甘藷	一日給與量 甘藷蔓	一日給與量 大豆粕	毎期總給與量 甘藷	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 大豆粕
第七期	七・五—七・一一	一〇、一九五	一、四七一	一、〇五一	七一、三六五	一〇、二九七	七、三五七
第八期	七・一二—七・一八	一〇、五三四	一、五二〇	一、〇八六	七三、七三八	一〇、六四〇	七、六〇二
第九期	七・一九—七・二五	一〇、九三二	一、五七八	一、一二七	七六、五二四	一一、〇四六	七、八八九
第一〇期	七・二六—八・一	一〇、九八〇	一、五八五	一、一三二	七六、八六〇	一一、〇九五	七、九二四
第一一期	八・二—八・八	九、五七六	一、七九五	九五八	六七、〇三二	一二、五六五	六、七〇六
第一二期	八・九—八・一五	一〇、〇〇八	一、八七六	一、〇〇〇	七〇、〇五六	一三、一三二	七、〇〇〇
第一三期	八・一六—八・二二	一〇、一六八	一、九〇六	一、〇一七	七一、一七六	一三、三四二	七、一一九
第一四期	八・二三—八・二九	一〇、五六〇	一、九八〇	一、〇五六	七三、九二〇	一三、八六〇	七、三九二
計					一、二七六、五九一	二四七、五八四	一一八、三二七

試驗期間に於ける總給與量は以上の如くなるも、實際上採食の際に於ける多少の散亂は免がれず。是等の差異の秤量査定は實施上頗る困難なるに付本試驗に於ては總給與量を以て採食量とせり。

四　管理

試驗用豚舍は長さ四間幅二間にして南北に流れ内部は東側に幅四尺の通路を有し、同側外閣は二箇所に二尺(上部)と一尺(下部)の無双格子窓を設け通風竝に採光に便す。屋内は奥行八尺間口六尺の四房に區分せられ、房の前面及後面は間明き二寸の竹格子、間仕切りは下部一尺を煉瓦、上部を板張とす。床は混凝土とし前方に傾斜を附して排尿に便す。

試驗豚は一房に二頭乃至三頭を收容して運動をなさしめず。房内は毎日朝夕二回掃除し清潔を保持したり。

飼料の給與は時間を定め毎日午前七時、同十時、午後二時、同五時の四回に行ひ、最初は半箇月毎に、肥育期に入りては毎週體重を秤り之によりて飼料の給與量を定めたり。又飼養管理は常に同一の人をして之をなさしめたり。尚試驗期間に於ける動物の健康狀態は常に良好なりき。

五　生體量の秤量

試驗豚の秤量は毎期の初め午前十時（第二回餌付前）と定め之を行ひたり、今毎期に於ける體重變化の狀態を示せば左の如し。

（一）バークシャー種

期次	秤量月日	生體量					前回に比し增減					全增體重	平均一日一頭の增體重	原體重に對する增加體重の百分率
		一號	二號	三號	四號	計	一號	二號	三號	四號	計			
	大正十四年 月 日	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	%
試驗着手	七・六	一一、三〇〇	一〇、九〇〇	一二、四〇〇	九、八〇〇	四四、四〇〇	―	―	―	―	―	―	―	―
第一期	七・二二	一二、二〇〇	一一、四〇〇	一三、九〇〇	一〇、六〇〇	四八、一〇〇	九〇〇	五〇〇	一、五〇〇	八〇〇	三、七〇〇	三、七〇〇	六一・七	八・三
第二期	八・六	一四、二〇〇	一三、一〇〇	一六、四〇〇	一一、四〇〇	五五、一〇〇	二、〇〇〇	一、七〇〇	二、五〇〇	八〇〇	七、〇〇〇	一〇、七〇〇	一〇九・四	二四・一
第三期	八・二二	一五、七〇〇	一四、二〇〇	一八、二〇〇	一三、九〇〇	六二、〇〇〇	一、五〇〇	一、一〇〇	一、八〇〇	二、五〇〇	六、九〇〇	一七、六〇〇	一一五・〇	三九・六
第四期	九・六	一六、九〇〇	一六、一〇〇	一九、九五〇	一五、四五〇	六八、四〇〇	一、二〇〇	一、九〇〇	一、七五〇	一、五五〇	六、四〇〇	二四、〇〇〇	一〇〇・〇	五四・一
第五期	九・二二	一八、九〇〇	一七、三〇〇	二〇、四〇〇	一七、四〇〇	七四、〇〇〇	二、〇〇〇	一、二〇〇	四五〇	一、九五〇	五、六〇〇	二九、六〇〇	九三・三	六六・七
第六期	一〇・一〇	二二、一〇〇	一八、七〇〇	二三、五〇〇	一九、一〇〇	八三、四〇〇	三、二〇〇	一、四〇〇	三、一〇〇	一、七〇〇	九、四〇〇	三九、〇〇〇	一三三・七	八七・八
第七期	一〇・一七	二三、三〇〇	一九、三〇〇	二五、二〇〇	二〇、二〇〇	八八、〇〇〇	一、二〇〇	六〇〇	一、七〇〇	一、一〇〇	四、六〇〇	四三、六〇〇	一六四・三	九八・三
第八期	一〇・二四	二四、八〇〇	二〇、七五〇	二六、五五〇	二一、三〇〇	九三、四〇〇	一、五〇〇	一、四五〇	一、三五〇	一、一〇〇	五、四〇〇	四九、〇〇〇	一九二・八	一一〇・四
第九期	一〇・三一	二六、二〇〇	二二、一〇〇	二七、八五〇	二二、九〇〇	九九、〇五〇	一、四〇〇	一、三五〇	一、三〇〇	一、六〇〇	五、六五〇	五四、六五〇	二〇一・八	一二三・一
第一〇期	一一・七	二七、二〇〇	二三、五〇〇	二八、九〇〇	二四、一〇〇	一〇三、七〇〇	一、〇〇〇	一、四〇〇	一、〇五〇	一、二〇〇	四、六五〇	五九、三〇〇	一六六・一	一三三・六
第一一期	一一・一四	二八、〇〇〇	二四、八〇〇	三〇、六〇〇	二五、八〇〇	一〇九、二〇〇	八〇〇	一、三〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	五、五〇〇	六四、八〇〇	一九六・四	一四五・九
第一二期	一一・二一	二九、〇〇〇	二五、七五〇	三一、二〇〇	二六、九〇〇	一一二、八五〇	一、〇〇〇	九五〇	六〇〇	一、一〇〇	三、六五〇	六八、四五〇	一三〇・〇	一五四・二
第一三期	一一・二八	二九、九〇〇	二六、八五〇	三二、一〇〇	二八、一〇〇	一一六、九五〇	九〇〇	一、一〇〇	九〇〇	一、二〇〇	四、一〇〇	七二、五五〇	一四六・六	一六三・四
第一四期	一二・五	三一、〇〇〇	二八、一〇〇	三三、〇〇〇	二九、一〇〇	一二一、二〇〇	一、一〇〇	一、二五〇	九〇〇	一、〇〇〇	四、二五〇	七六、八〇〇	一五二・八	一七三・〇
計及平均						三〇、三〇〇	一九、七〇〇	一七、二〇〇	二〇、六〇〇	一九、三〇〇	七六、八〇〇	一九、二〇〇	一二六・三	―

(二) 桃園種

期次	秤量月日	生體量 五號	生體量 六號	生體量 計	前回に比し増減 五號	前回に比し増減 六號	前回に比し増減 計	全増體重	平均一日一頭の増體重	原體重に對する増加體重の百分率
	大正十二年 月 日	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	%
試驗着手	五・一	八,二〇〇	一〇,八〇〇	一九,〇〇〇	—	—	—	—	—	—
第一期	五・一六	九,七〇〇	一二,九〇〇	二二,六〇〇	一,五〇〇	二,一〇〇	三,六〇〇	三,六〇〇	一二〇・〇	一八・九
第二期	六・一	一二,一〇〇	一五,二〇〇	二七,三〇〇	二,四〇〇	二,三〇〇	四,七〇〇	八,三〇〇	一四六・九	四三・七
第三期	六・一六	一三,二〇〇	一六,九〇〇	三〇,一〇〇	一,一〇〇	一,七〇〇	二,八〇〇	一一,一〇〇	九三・三	五八・四
第四期	七・一	一四,四〇〇	一八,二〇〇	三二,六〇〇	一,二〇〇	一,三〇〇	二,五〇〇	一三,六〇〇	八三・三	七一・六
第五期	七・一六	一五,二〇〇	一九,五〇〇	三四,七〇〇	八〇〇	一,三〇〇	二,一〇〇	一五,七〇〇	七〇・〇	八二・六
第六期	八・六	一六,五〇〇	二一,〇〇〇	三七,五〇〇	一,三〇〇	一,五〇〇	二,八〇〇	一八,五〇〇	六六・七	九七・四
第七期	八・一三	一七,一〇〇	二〇,八〇〇	三七,九〇〇	六〇〇	(−)二〇〇	四〇〇	一八,九〇〇	二八・六	九九・五
第八期	八・二〇	一八,二〇〇	二三,〇〇〇	四一,二〇〇	一,一〇〇	二,二〇〇	三,三〇〇	二二,二〇〇	二三五・七	一一六・八
第九期	八・二七	一八,八〇〇	二二,九〇〇	四一,七〇〇	六〇〇	(−)一〇〇	五〇〇	二二,七〇〇	三五・七	一一九・五
第一〇期	九・三	一九,三〇〇	二三,三〇〇	四二,六〇〇	五〇〇	四〇〇	九〇〇	二三,六〇〇	六四・三	一二四・二
第一一期	九・一〇	二〇,四〇〇	二五,三〇〇	四五,七〇〇	一,一〇〇	二,〇〇〇	三,一〇〇	二六,七〇〇	二二一・四	一四〇・五
第一二期	九・一七	二〇,五〇〇	二四,四〇〇	四四,九〇〇	一〇〇	(−)九〇〇	(−)八〇〇	二五,九〇〇	(−)五七・一	一三六・三
第一三期	九・二四	二〇,九〇〇	二五,〇〇〇	四五,九〇〇	四〇〇	六〇〇	一,〇〇〇	二六,九〇〇	七一・四	一四一・六
第一四期	一〇・一	二一,五〇〇	二六,〇〇〇	四七,五〇〇	六〇〇	一,〇〇〇	一,六〇〇	二八,五〇〇	一一四・三	一五〇・〇
計及平均	—	—	—	二三,七五〇	一三,三〇〇	一五,二〇〇	二八,五〇〇	一四,二五〇	九三・一	—

(三) 小耳種

期次	秤量月日	生體量 七號	生體量 八號	生體量 九號	生體量 一〇號	生體量 一一號	生體量 一二號	生體量 計
	大正十二年 月 日	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁
試驗着手	三・一六	四,六〇〇	四,六〇〇	四,五〇〇	三,一〇〇	四,〇〇〇	三,九〇〇	二四,七〇〇
第一期	三・三一	四,九五〇	五,一五〇	四,八五〇	三,六〇〇	四,五〇〇	四,六五〇	二七,七〇〇
第二期	四・一五	五,七〇〇	六,〇〇〇	五,八五〇	四,一〇〇	五,〇五〇	五,三五〇	三二,〇五〇
第三期	五・一	六,一〇〇	六,五〇〇	五,七五〇	四,五〇〇	五,五五〇	五,九〇〇	三四,三〇〇
第四期	五・一六	七,一〇〇	七,八〇〇	六,八五〇	五,六五〇	六,六五〇	六,九〇〇	四〇,九五〇
第五期	六・一	七,八五〇	八,二〇〇	七,三五〇	六,二〇〇	七,四五〇	七,三〇〇	四四,三五〇
第六期	六・二〇	八,五〇〇	八,九二〇	八,三〇〇	七,七五〇	八,五八〇	八,七〇〇	五〇,七五〇
第七期	六・二七	八,八五〇	九,一〇〇	八,七〇〇	七,九〇〇	八,八〇〇	八,九〇〇	五二,二五〇
第八期	七・四	八,九〇〇	九,二五〇	八,九〇〇	八,〇〇〇	九,一五〇	九,一〇〇	五三,三〇〇
第九期	七・一一	九,五〇〇	一〇,五〇〇	九,三〇〇	八,五五〇	九,八五〇	九,四五〇	五七,一五〇
第一〇期	七・一八	九,七〇〇	一〇,六五〇	九,五〇〇	八,六五〇	九,九〇〇	九,六〇〇	五八,〇〇〇
第一一期	七・二五	九,八〇〇	一〇,六五〇	九,六〇〇	八,七五〇	一〇,〇〇〇	九,七五〇	五八,五五〇
第一二期	八・一	一〇,〇〇〇	一〇,七五〇	九,七〇〇	九,〇〇〇	一〇,一〇〇	九,八五〇	五九,四〇〇
第一三期	八・八	一〇,三五〇	一〇,九五〇	九,九五〇	九,三五〇	一〇,二五〇	一〇,一〇〇	六〇,九五〇
第一四期	八・一五	一一,一〇〇	一一,四〇〇	一〇,四〇〇	九,七〇〇	一〇,九五〇	一〇,八〇〇	六四,三五〇
計及平均	—	—	—	—	—	—	—	一〇,七二五

期次	前回に比し増減 七號	前回に比し増減 八號	前回に比し増減 九號	前回に比し増減 一〇號	前回に比し増減 一一號	前回に比し増減 一二號	前回に比し増減 計	全増體重	平均一日一頭の増體重	原體重に對する増加體重の百分率
	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	%
試驗着手	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第一期	三五〇	五五〇	三五〇	五〇〇	五〇〇	七五〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇	三三・三	一二・一
第二期	七五〇	八五〇	一,〇〇〇	五〇〇	五五〇	七〇〇	四,三五〇	七,三五〇	四八・三	二九・八
第三期	四〇〇	五〇〇	(−)一〇〇	四〇〇	五〇〇	五五〇	二,二五〇	九,六〇〇	二三・四	三八・九
第四期	一,〇〇〇	一,三〇〇	一,一〇〇	一,一五〇	一,一〇〇	一,〇〇〇	六,六五〇	一六,二五〇	七三・九	六五・八
第五期	七五〇	四〇〇	五〇〇	五五〇	八〇〇	四〇〇	三,四〇〇	一九,六五〇	三五・四	七九・六
第六期	六五〇	七二〇	九五〇	一,五五〇	一,一三〇	一,四〇〇	六,四〇〇	二六,〇五〇	五六・一	一〇五・五
第七期	三五〇	一八〇	四〇〇	一五〇	二二〇	二〇〇	一,五〇〇	二七,五五〇	三五・七	一一一・五
第八期	五〇	一五〇	二〇〇	一〇〇	三五〇	二〇〇	一,〇五〇	二八,六〇〇	二五・〇	一一五・八
第九期	六〇〇	一,二五〇	四〇〇	五五〇	七〇〇	三五〇	三,八五〇	三二,四五〇	九一・七	一三一・四
第一〇期	二〇〇	一五〇	二〇〇	一〇〇	五〇	一五〇	八五〇	三三,三〇〇	二〇・二	一三四・八
第一一期	一〇〇	〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一五〇	五五〇	三三,八五〇	一三・一	一三七・〇
第一二期	二〇〇	一〇〇	一〇〇	二五〇	一〇〇	一〇〇	八五〇	三四,七〇〇	二〇・二	一四〇・五
第一三期	三五〇	二〇〇	二五〇	三五〇	一五〇	二五〇	一,五五〇	三六,二五〇	三六・九	一四六・八
第一四期	七五〇	四五〇	四五〇	三五〇	七〇〇	七〇〇	三,四〇〇	三九,六五〇	八一・〇	一六〇・五
計及平均	六,五〇〇	六,八〇〇	五,九〇〇	六,六〇〇	六,九五〇	六,九〇〇	三九,六五〇	六,六〇八	四三・五	—

(四) 桃園雜種

期次	秤量月日	生體量 一三號 (匁)	生體量 一四號 (匁)	生體量 計 (匁)	前回に比し増減 一三號 (匁)	前回に比し増減 一四號 (匁)	前回に比し増減 計 (匁)	全増體重 (匁)	平均一日一頭の増體重 (匁)	原體重に對する増加體重の百分率 (%)
試驗着手	大正十二年 一二・七	一一,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二一,〇〇〇	—	—	—	—	—	—
第一期	一二・二三	一一,九〇〇	一一,二〇〇	二三,一〇〇	九〇〇	一,二〇〇	二,一〇〇	二,一〇〇	七〇・〇	一〇・〇
第二期	大正十三年 一・七	一四,〇〇〇	一二,二〇〇	二六,二〇〇	二,一〇〇	一,〇〇〇	三,一〇〇	五,二〇〇	九六・九	二四・八
第三期	一・二三	一六,五〇〇	一二,六五〇	二九,一五〇	二,五〇〇	四五〇	二,九五〇	八,一五〇	九八・三	三八・八
第四期	二・七	一七,九五〇	一五,三〇〇	三三,二五〇	一,四五〇	二,六五〇	四,一〇〇	一二,二五〇	一二八・四	五八・三
第五期	二・二三	二〇,一〇〇	一五,八五〇	三五,九五〇	二,一五〇	五五〇	二,七〇〇	一四,九五〇	九〇・〇	七一・二
第六期	三・一二	二三,一〇〇	一八,二〇〇	四一,三〇〇	三,〇〇〇	二,三五〇	五,三五〇	二〇,三〇〇	一四〇・八	九六・七
第七期	三・一九	二三,一五〇	一八,八〇〇	四一,九五〇	五〇	六〇〇	六五〇	二〇,九五〇	四六・四	九九・八
第八期	三・二六	二四,七五〇	二〇,四〇〇	四五,一五〇	一,六〇〇	一,六〇〇	三,二〇〇	二四,一五〇	二二八・六	一一五・〇
第九期	四・二	二五,六〇〇	二一,四〇〇	四七,〇〇〇	八五〇	一,〇〇〇	一,八五〇	二六,〇〇〇	一三二・一	一二三・八
第一〇期	四・九	二六,二〇〇	二二,一〇〇	四八,三〇〇	六〇〇	七〇〇	一,三〇〇	二七,三〇〇	九二・九	一三〇・〇
第一一期	四・一六	二七,四〇〇	二三,五〇〇	五〇,九〇〇	一,二〇〇	一,四〇〇	二,六〇〇	二九,九〇〇	一八五・七	一四二・四
第一二期	四・二三	二七,六〇〇	二三,七〇〇	五一,三〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	三〇,三〇〇	二八・六	一四四・三
第一三期	四・三〇	二八,五〇〇	二五,〇〇〇	五三,五〇〇	九〇〇	一,三〇〇	二,二〇〇	三二,五〇〇	一五七・一	一五九・五
第一四期	五・七	二九,五〇〇	二七,〇〇〇	五六,五〇〇	一,〇〇〇	二,〇〇〇	三,〇〇〇	三五,五〇〇	二一四・三	一六九・〇
計及平均	—	—	—	二八,二五〇	一八,五〇〇	一七,〇〇〇	三五,五〇〇	一七,七五〇	一二六・八	—

(五) 小耳雜種

期次	秤量月日	生體量 一五號 (匁)	生體量 一六號 (匁)	生體量 一七號 (匁)	生體量 一八號 (匁)	生體量 一九號 (匁)	生體量 二〇號 (匁)	生體量 計 (匁)	前回に比し増減 一五號 (匁)	前回に比し増減 一六號 (匁)	前回に比し増減 一七號 (匁)	前回に比し増減 一八號 (匁)	前回に比し増減 一九號 (匁)	前回に比し増減 二〇號 (匁)	前回に比し増減 計 (匁)	全増體重 (匁)	平均一日一頭の増體重 (匁)	原體重に對する増加體重の百分率 (%)
試驗着手	大正十三年 三・三一	一二,五〇〇	八,七〇〇	一一,四〇〇	九,九〇〇	九,九〇〇	八,九〇〇	六〇,三〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第一期	四・一六	一三,二〇〇	九,五〇〇	一二,三〇〇	一〇,九〇〇	一一,三〇〇	一〇,〇〇〇	六六,二〇〇	七〇〇	八〇〇	九〇〇	一,〇〇〇	一,四〇〇	一,一〇〇	五,九〇〇	五,九〇〇	六一・五	九・八
第二期	五・一	一三,九〇〇	一一,七〇〇	一四,一〇〇	一二,四〇〇	一二,九〇〇	一一,四〇〇	七五,四〇〇	七〇〇	二,二〇〇	一,八〇〇	一,五〇〇	一,六〇〇	一,四〇〇	九,二〇〇	一五,一〇〇	一〇二・二	二五・〇
第三期	五・一六	一四,七〇〇	一二,五〇〇	一四,七〇〇	一三,三〇〇	一四,一〇〇	一二,二〇〇	八一,五〇〇	八〇〇	八〇〇	六〇〇	九〇〇	一,二〇〇	八〇〇	六,一〇〇	二一,二〇〇	六七・八	三五・二
第四期	五・三一	一六,一〇〇	一三,四〇〇	一五,四五〇	一四,一五〇	一五,五〇〇	一三,四〇〇	八八,〇〇〇	一,四〇〇	九〇〇	七五〇	八五〇	一,四〇〇	一,二〇〇	六,五〇〇	二七,七〇〇	七二・四	四五・九
第五期	六・一六	一七,五〇〇	一四,八〇〇	一六,八〇〇	一五,五〇〇	一六,九〇〇	一四,七〇〇	九六,二〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,三五〇	一,三五〇	一,四〇〇	一,三〇〇	八,二〇〇	三五,九〇〇	八五・四	五九・五
第六期	七・五	一八,八〇〇	一六,二〇〇	一八,三〇〇	一六,八〇〇	一八,八〇〇	一六,二〇〇	一〇五,一〇〇	一,三〇〇	一,四〇〇	一,五〇〇	一,三〇〇	一,九〇〇	一,五〇〇	八,九〇〇	四四,八〇〇	七八・一	七四・三
第七期	七・一二	一九,五〇〇	一七,〇〇〇	一八,七〇〇	一七,三〇〇	一九,一〇〇	一七,〇〇〇	一〇八,六〇〇	七〇〇	八〇〇	四〇〇	五〇〇	三〇〇	八〇〇	三,五〇〇	四八,三〇〇	八三・三	八〇・一
第八期	七・一九	二〇,三〇〇	一七,九〇〇	一九,五〇〇	一七,七〇〇	一九,八〇〇	一七,五〇〇	一一二,七〇〇	八〇〇	九〇〇	八〇〇	四〇〇	七〇〇	五〇〇	四,一〇〇	五二,四〇〇	九七・六	八六・九
第九期	七・二六	二〇,一〇〇	一七,八〇〇	一九,二〇〇	一八,〇〇〇	二〇,二〇〇	一七,九〇〇	一一三,二〇〇	(一)二〇〇	(一)一〇〇	(一)三〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	五〇〇	五二,九〇〇	一一・九	八七・八
第一〇期	八・二	二一,六〇〇	一九,一〇〇	二〇,七〇〇	一八,七〇〇	二一,〇〇〇	一八,六〇〇	一一九,七〇〇	一,五〇〇	一,三〇〇	一,五〇〇	七〇〇	八〇〇	七〇〇	六,五〇〇	五九,四〇〇	一五四・八	九八・五
第一一期	八・九	二二,三〇〇	一九,七〇〇	二一,三〇〇	一九,九〇〇	二二,五〇〇	一九,四〇〇	一二五,一〇〇	七〇〇	六〇〇	六〇〇	一,二〇〇	一,五〇〇	八〇〇	五,四〇〇	六四,八〇〇	一二八・六	一〇七・四
第一二期	八・一六	二二,六〇〇	二〇,四〇〇	二一,四〇〇	二〇,一〇〇	二二,九〇〇	一九,七〇〇	一二七,一〇〇	三〇〇	七〇〇	一〇〇	二〇〇	四〇〇	三〇〇	二,〇〇〇	六六,八〇〇	四七・六	一一〇・八
第一三期	八・二三	二三,二〇〇	二一,二〇〇	二二,二〇〇	二〇,八〇〇	二三,六〇〇	二一,〇〇〇	一三二,〇〇〇	六〇〇	八〇〇	八〇〇	七〇〇	七〇〇	一,三〇〇	四,九〇〇	七一,七〇〇	一一六・七	一一九・〇
第一四期	八・三〇	二三,六〇〇	二二,三〇〇	二三,一〇〇	二一,三〇〇	二三,九〇〇	二一,一〇〇	一三五,三〇〇	四〇〇	一,一〇〇	九〇〇	五〇〇	三〇〇	一〇〇	三,三〇〇	七五,〇〇〇	七八・六	一二四・四
計及平均	—	—	—	—	—	—	—	二二,五五〇	一一,一〇〇	一三,六〇〇	一一,七〇〇	一一,四〇〇	一四,〇〇〇	一二,二〇〇	七五,〇〇〇	一二,五〇〇	八二・二	—

右表は各種類共生後七箇月目より滿五箇月間飼養し、最終八週間肥育したる成績にして更に之を平均一頭につき比較を試むる時は左表の如し。

種類別	試驗著手時體重	試驗終了時體重	增加體重	試驗期間に於ける平均一日の增加體重	原體重に對する增加體重の百分率
バークシヤー種	一一、一〇〇匁	三〇、三〇〇匁	一九、二〇〇匁	一三六・三匁	一七三・〇%
桃園雜種	一〇、五〇〇	二八、二五〇	一七、七五〇	一二六・八	一六九・〇
桃園種	九、五〇〇	二三、七五〇	一四、二五〇	九三・一	一五〇・〇
小耳雜種	一〇、〇五〇	二二、五五〇	一二、五〇〇	八三・三	一二四・四
小耳種	四、一二七	一〇、七三五	六、六〇八	四三・二	一六〇・五

卽ち試驗期間に於ける增加體重は「バークシヤー」種の一九貫二〇〇匁を最大とし、桃園雜種の一七貫七五〇匁之に次ぎ、桃園種の一四貫二五〇匁、小耳雜種の一二貫五〇〇匁、小耳種の六貫六〇八匁と相順次し、試驗終了時に於ける體重も又此順序を示せり。(別表參照)

六 增體重と飼料價格及澱粉價

本試驗は肉豚飼養上各種類の比較研究を行ふものにして試驗の成績も又經濟と離るべからざるが故に、左に飼養成績に重要なる關係を有する飼養中に於ける生體重の增量と給與せる飼料の價格竝に澱粉價との關係に就き示さんとす。

本試驗に供用せる飼料價の算出は左記の價格(一〇貫匁に付)による

甘諸　七十錢　甘諸蔓　二十錢

大豆粕　三圓五十錢

(一) 總給與量價格及澱粉價 (自試驗著手至終了五箇月間)

(イ) バークシヤー種

飼料名	總給與量	價格	澱粉價
甘諸	一、〇一九、六八八匁	七一・三七八圓	二〇一、八九八匁
甘諸蔓	一九六、三八四	三・九二八	九、二三〇
大豆粕	九四、九三八	三三・二二八	七一、一〇九
計	一、三一一、〇一〇	一〇八・五三四	二八二、二三七

(ロ) 桃園種

飼料名	總給與量	價格	澱粉價
甘諸	四六一、四一〇匁	三二・二九九圓	九一、三五九匁
甘諸蔓	八八、三七九	一・七六八	四、一五四
大豆粕	四二、八九四	一五・〇一三	三二、一二八
計	五九二、六八三	四九・〇八〇	一二七、六四一

（ハ）小耳種

飼料名	總給與量（匁）	價格（円）	澱粉價（匁）
甘藷	五八四、八二七	四〇・九三八	一一五、七九六
甘藷蔓	一一三、八一五	二・二五六	五、三〇二
大豆粕	五四、三七六	一九・〇三二	四〇、七二八
計	七五二、〇一八	六二・二二六	一六一、八二六

（ニ）桃園雜種

飼料名	總給與量（匁）	價格（円）	澱粉價（匁）
甘藷	四八五、七一五	三四・〇〇〇	九六、一七二
甘藷蔓	九二、九七六	一・八六〇	四、三七〇
大豆粕	四五、三三九	一五・八六五	三三、九五一
計	六二四、〇二〇	五一・七二五	一三四、四九三

（ホ）小耳雜種

飼料名	總給與量（匁）	價格（円）	澱粉價（匁）
甘藷	一、二七六、五九一	八九・三六一	二五二、七六五
甘藷蔓	二四七、五八四	四・九五二	一一、六三六
大豆粕	一一八、三二七	四一・四一四	八八、六二七
計	一、六四二、五〇二	一三五・七二七	三五三、〇二八

（二）增體重一貫匁に對する飼料費及澱粉價

前表により一貫匁の生體重を增加せるに要せし各種類の飼料費及澱粉價を比較するに左の如く。何れも「バークシャー」種最も有利にして桃園雜種之に次ぎ小耳種、桃園種及小耳雜種と相順次せるを見る。

種類別	飼料費（円）	澱粉價（匁）
バークシャー種	一・四一三	三・六七五
桃園雜種	一・四五七	三・七八九
小耳種	一・五六九	四・〇八一
桃園種	一・七二二	四・四七九
小耳雜種	一・八一〇	四・七〇七

備考　小耳雜種は絕對體重に於て相當發育を遂げ居るに拘はらず小耳種より不良なるは、試驗著手時に於て旣に相當體重に達せしによるものなるを以て此點には注意を要すべきものとす。

（三）增體重一貫に對する各飼料消費量

更に又増體重一貫匁に對する各種類の飼料消費量を比較すれば左の如し。

種類別	甘藷	甘藷蔓	大豆粕	計
バークシャー種	一三、二七七匁	二、五五七匁	一、二三六匁	一七、〇七〇匁
桃園雜種	一三、六八三	二、六一九	一、二七七	一七、五七八
小耳種	一四、七五〇	二、八四五	一、三七一	一八、九六六
桃園種	一六、一九〇	三、一〇一	一、五〇五	二〇、七九六
小耳雜種	一七、〇三二	三、三〇一	一、五七八	二〇、九〇〇

七　屠殺及解體

各種肉豚の發育比較に就ては既に前述の如くなるが、更に之が屠殺解體を行ひ以て其肉、脂肪、骨、内臟等の重量竝に品質につき比較研究せしに左の如し。

(一)　絶食による減體重

屠殺に先ち二四時間絶食したるに體重の減耗左の如し。

種類別	番號	生體量 絶食前	生體量 絶食後	減體重	減耗歩合
バークシャー種	一號	三一、〇〇〇匁	二九、一〇〇匁	一、九〇〇匁	六・一三%
	二號	二八、一〇〇	二六、四〇〇	一、七〇〇	六・〇五
	三號	三三、〇〇〇	三一、二〇〇	一、八〇〇	五・四五
	四號	二九、一〇〇	二七、一〇〇	二、〇〇〇	六・八七
	平均	三〇、三〇〇	二八、四五〇	一、八五〇	六・一一
桃園種	五號	二一、五〇〇	二〇、二〇〇	一、三〇〇	六・〇五
	六號	二六、〇〇〇	二四、六〇〇	一、四〇〇	五・三九
	平均	二三、七五〇	二二、四〇〇	一、三五〇	五・六八
小耳種	七號	一一、一〇〇	一〇、四〇〇	七〇〇	六・三一
	八號	一一、四〇〇	一〇、七〇〇	七〇〇	六・一四
	九號	一〇、四〇〇	九、八〇〇	六〇〇	五・七七
	一〇號	九、七〇〇	八、九〇〇	八〇〇	八・二五
	一一號	一〇、九五〇	一〇、〇〇〇	九五〇	九・四〇
	一二號	一〇、八〇〇	九、八〇〇	一、〇〇〇	九・二六
	平均	一〇、七三五	九、九三三	七九二	七・三八
桃園雜種	一三號	二九、五〇〇	二八、一〇〇	一、四〇〇	四・七五
	一四號	二七、〇〇〇	二五、二三〇	一、七七〇	六・五六
	平均	二八、二五〇	二六、六六五	一、五八五	五・五九
小耳雜種	一五號	二三、六〇〇	二二、四〇〇	一、二〇〇	五・〇八
	一六號	二二、三〇〇	二〇、九〇〇	一、四〇〇	六・二八
	一七號	二三、一〇〇	二一、六〇〇	一、五〇〇	六・四九
	一八號	二一、三〇〇	二〇、一〇〇	一、二〇〇	五・六三
	一九號	二三、九〇〇	二二、六〇〇	一、三〇〇	五・四四
	二〇號	二一、一〇〇	一九、九〇〇	一、二〇〇	五・六九
	平均	二二、五五〇	二一、二五〇	一、三〇〇	五・七七

右表に據れば絶食により生じたる體重の平均減耗率は桃園雜種最も少く絶食前體重に對し五・五九%にして、桃園種の五・六八%之に次ぎ小耳雜種の五・七七%、「バークシャー」種の六・一一%、小耳種の七・三八%と相順次せり。

(二) 屠殺解體時に於ける豚體各部の重量比較

試驗豚の屠殺は本島在來の法式により料血刀を以て咽喉部を刺し動靜脈を切斷して放血致死せしめ、湯剝法により處理したる後解體秤量せり。其結果左の如し。

(イ) バークシャー種

區分＼番號	一號	二號	三號	四號	計	平均	生體量に對する歩合
生體量	二九、一〇〇瓦	二六、四〇〇瓦	三一、二〇〇瓦	二七、一〇〇瓦	一一三、八〇〇瓦	二八、四五〇瓦	一%
屠體量	二五、三四〇	二三、一〇〇	二七、一九〇	二三、五九〇	九九、二二〇	二四、八〇五	八七・一九
肉	二一、六三〇	二〇、〇五〇	二三、四一〇	二〇、三二〇	八五、四一〇	二一、三五三	七五・〇五
腹壁脂肪	一、〇五〇	七九〇	一、一〇〇	八九〇	三、八三〇	九五八	三・三七
骨	二、三五〇	二、二二五	二、四九〇	二、二一〇	九、二七五	二、三一九	八・一五
目減	二一〇	一四五	一九〇	一六〇	七〇五	一七六	〇・六二
內臟量	二、八一〇	二、三〇〇	三、〇五〇	二、六〇〇	一〇、七六〇	二、六九〇	九・四六
放血量	八〇〇	六〇〇	七〇〇	六〇〇	二、七〇〇	六七五	二・三七
毛垢量及目減	二五〇	三〇〇	二六〇	三一〇	一、一二〇	二八〇	〇・九八

備考 一、屠體重とは生體より毛垢血液及內臟を除去したるものを云ふ。
二、目減とは解體の際生じたる亡失量を云ふ。

(ロ) 桃園種

區分＼番號	五號	六號	計	平均	生體量に對する歩合
生體量	二〇、二〇〇瓦	二四、六〇〇瓦	四四、八〇〇瓦	二二、四〇〇瓦	一%
屠體量	一八、四九〇	二〇、二一〇	三八、七〇〇	一九、三五〇	八六・三八
肉	一三、五〇〇	一六、二九〇	二九、七九〇	一四、八九五	六六・四九
腹壁脂肪	五〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	七五〇	三・三五
骨	二、三一〇	二、七一〇	五、〇二〇	二、五一〇	一一・二一
目減	一八〇	二一〇	三九〇	一九五	〇・八七
內臟量	二、八〇〇	三、四〇〇	六、二〇〇	三、一〇〇	一三・八四
放血量	七〇〇	八〇〇	一、五〇〇	七五〇	三・三五
毛垢量及目減	二一〇	一九〇	四〇〇	二〇〇	〇・八九

(ハ) 小耳種

區分＼番號	七號	八號	九號	一〇號	一一號	一二號	計	平均	生體量に對する歩合
生體量	一〇、四〇〇瓦	一〇、七〇〇瓦	九、八〇〇瓦	八、九〇〇瓦	一〇、〇〇〇瓦	九、八〇〇瓦	五九、六〇〇瓦	九、九三三瓦	—%
居體量	八、五〇〇	八、七三〇	八、一〇〇	七、三八〇	八、三二〇	七、九八〇	四八、八〇〇	八、一三三	八一・八八
肉	六、九一〇	六、九七〇	六、五八〇	五、七九〇	六、六三〇	六、四六〇	三九、三四〇	六、五五七	六六・〇一
腹壁脂肪	二七〇	二九〇	二一〇	二一〇	二九〇	二七五	一、五四五	二五八	二・五九
骨	一、三三〇	一、三八〇	一、一九〇	一、一九〇	一、三〇〇	一、二四五	七、三三五	一、二二二	一二・三一
目減	九〇	八〇	一二〇	九〇	一〇〇	一〇〇	五八〇	九七	〇・九七
內臟量	一、四〇〇	一、三八〇	一、二五〇	一、一〇〇	一、二五〇	一、三〇〇	七、四八〇	一、二四七	一二・五五
放血量	三六〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	五〇〇	二、四六〇	四一〇	四・一三
毛垢量及目減	一四〇	二〇〇	一五〇	一三〇	一三〇	一三〇	八六〇	一四三	一・四四

(ニ) 桃園雜種

區分＼番號	一三號	一四號	計	平均	生體量に對する歩合
生體量	二八、一〇〇瓦	二五、二三〇瓦	五三、三三〇瓦	二六、六六五瓦	—%
居體量	二三、八一〇	二〇、六七〇	四四、四八〇	二二、二四〇	八三・四一
肉	一九、五〇〇	一七、〇〇〇	三六、五〇〇	一八、二五〇	六八・四四
腹壁脂肪	一、二一〇	六九〇	一、九一〇	九五五	三・五八
骨	二、九八〇	二、六六〇	五、六四〇	二、八二〇	一〇・五八
目減	一二〇	三二〇	四三〇	二一五	〇・八一
內臟量	二、九九〇	三、五四〇	六、五三〇	三、二六五	一二・二四
放血量	九三〇	七五〇	一、六八〇	八四〇	三・一五
毛垢量及目減	三七〇	二七〇	六四〇	三二〇	一・二〇

(ホ) 小耳雜種

區分＼番號	一五號	一六號	一七號	一八號	一九號	二〇號	計	平均	生體量に對する歩合
生體量	二三、四〇〇瓦	二〇、九〇〇瓦	二二、六〇〇瓦	二〇、一〇〇瓦	二三、六〇〇瓦	一九、九〇〇瓦	一二七、五〇〇瓦	二一、二五〇瓦	—%
居體量	一九、一五〇	一七、七〇〇	一八、六九〇	一七、四〇〇	一九、六五〇	一七、二五〇	一〇九、八四〇	一八、三〇七	八六・一五
肉	一六、〇八〇	一四、七九〇	一五、七五〇	一四、五一〇	一六、六二〇	一四、四七〇	九二、二一〇	一五、三六八	七二・三三
腹壁脂肪	九七〇	七一〇	八六〇	七〇〇	八四〇	七〇〇	四、七八〇	七九七	三・七五
骨	一、八三〇	一、九六〇	一、八六〇	一、九八〇	一、九五〇	一、八五〇	一一、四三〇	一、九〇五	八・九六
目減	二七〇	二四〇	二三〇	二一〇	二五〇	二三〇	一、四三〇	二三七	一・一二
內臟量	二、五〇〇	二、三五〇	二、一五〇	二、〇〇〇	二、一五〇	一、九五〇	一三、一〇〇	二、一八三	一〇・二七
放血量	五五〇	六〇〇	五五〇	五〇〇	六〇〇	五〇〇	三、三〇〇	五五〇	二・五九
毛垢量及目減	二〇〇	二五〇	二一〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一、二六〇	二一〇	〇・九九

右表により生體量に對する各部の重量歩合を比較すれば左表の如く、何れの場合に於ても「バークシャー」種最も優良にして小耳雜種之に次ぎ桃園雜種、桃園種、小耳種と相順次せり。

種類別 / 區分	バークシャー種	小耳雑種	桃園雑種	桃園種	小耳種
屠體量	八七・一九%	八六・二五%	八三・四二%	八二・九三%	八二・八八%
肉	七五・〇五	七二・三三	六八・四四	六六・四九	六六・〇二
腹壁脂肪	三・三七	三・七五	三・五八	三・二五	二・二九
骨	八・一五	八・九六	一〇・五八	一二・三二	一三・三二
目減	〇・六三	一・二一	〇・八二	〇・八七	〇・七七
内臓量	九・四六	一〇・二七	一三・二四	一三・八四	一三・五五
放血量	二・三七	二・五九	二・一五	二・三五	四・一三
毛垢量及目減	〇・九六	〇・八九	一・二〇	〇・八九	一・四四

（三）肉及脂肪の品質比較

肉及脂肪の品質比較に就ては農藝化學科奥村技師及樋口技手の試驗による理化學的成績を擧ぐ。

（イ）筋肉の成分

區分	水分	蛋白質	脂肪
バークシャー種	六八・九七%	二〇・八六%	一〇・一四%
桃園種	七五・九七	一七・八〇	三・九一
小耳種	七四・七六	二〇・八一	三・五九
桃園雑種	七四・六七	二一・三八	四・〇一
小耳雑種	七六・八六	一九・八一	二・八六

備考　供試筋肉は小腰筋（ヒレ）とす。

右表によれば筋肉中水分の割合は「バークシャー」種最も少く桃園雑種之に次ぎ小耳種、桃園種及小耳雑種と順次に多し。蛋白質に就ては桃園雑種最も多く「バークシャー」種之に次ぎ小耳種、小耳雑種及桃園種と相順次せり。脂肪に就ては「バークシャー」種最も多く桃園雑種之に次ぎ桃園種小耳種及小耳雑種と相順次せり。

（ロ）脂肪の性狀

區分	溶融點	凝固點
バークシャー種	五〇・〇度	二八・五度
桃園種	五一・〇	二九・〇
小耳種	四七・〇	二七・五
桃園雑種	五〇・〇	二九・〇
小耳雑種	五一・〇	二八・〇

本表に依れば溶融點は桃園種と小耳雑種は同一にして最も高く、「バークシャー」種と桃園雑種之に次ぎ小耳種最も低し。

凝固點は桃園種、桃園雑種同一にして最も高く、「バークシャー」種之に次ぎ小耳雑種及小耳種と相順次せり。

八　結論

以上試驗の成績を總括すれば左の如し。

一　試驗期間に於ける平均一頭の體重增加の狀況は左表の如く「バークシャー種」最も優良にして、桃園雜種之に次ぎ桃園種小耳雜種及小耳種と相順次せり。

種類別	試驗著手時體重	試驗終了時體重	增體重	平均一日の增體重	原體重に對する增加體重の百分率
バークシャー種	一一,一〇〇匁	三〇,三〇〇匁	一九,二〇〇匁	一三六・三匁	一七三・〇%
桃園雜種	一〇,五〇〇	二八,二五〇	一七,七五〇	一一六・八	一六九・〇
桃園種	九,五〇〇	二三,七五〇	一四,二五〇	九二・一	一五〇・〇
小耳雜種	一〇,〇五〇	二三,五五〇	一三,五〇〇	八二・三	一三四・四
小耳種	四,一一七	一〇,七二五	六,六〇八	四二・三	一六〇・五

二　體重一貫匁を增加するに要したる飼料量竝に其價格及澱粉價は左表の如く、何れも「バークシャー」種最も有利にして桃園雜種之に次ぎ小耳種、桃園種及小耳雜種と相順次せり。

（イ）飼料消費量

種類別	甘藷	甘藷蔓	大豆粕	計
バークシャー種	一三,三七七匁	二,三五七匁	一,三三六匁	一七,〇七〇匁
桃園雜種	一三,六八二	二,六一九	一,二七七	一七,五七八
小耳種	一四,七五〇	二,八四五	一,三七一	一八,九六六
桃園種	一六,一九〇	三,一〇一	一,五〇五	二〇,七九六
小耳雜種	一七,〇一一	二,三〇一	一,五七八	二〇,九〇〇

（ロ）飼料價及澱粉價

種類別	飼料價	澱粉價
バークシャー種	一・四八〇円	三,六七五匁
桃園雜種	一・五二五	三,七八九
小耳種	一・六四三	四,〇八一
桃園種	一・八〇三	四,四七九
小耳雜障	一・八九五	四,七〇七

三　生體量に對する絶食による體重の減耗步合は左の如く桃園雜種最も少く桃園種之に次ぎ小耳雜種、「バークシャー」種及小耳種と相順次せり。

桃園雜種	桃園種	小耳雜種	バークシャー種	小耳種
五・五九%	五・六八%	五・七七%	六・一一%	七・三八%

四　生體量に對する解體せる各部の歩合は左表の如く「バークシャー」種最も優良にして小耳雜種之に次ぎ桃園雜種、桃園種及小耳種と相順次せり。

區分＼種類別	バークシャー種	小耳雜種	桃園雜種	桃園種	小耳種
屠體量	八七・一九%	八六・一五%	八三・四二%	八一・九二%	八一・八八%
肉量	七五・〇五	七二・一三	六八・四四	六六・四九	六六・〇一
腹壁脂肪量	三・二七	三・七五	三・五八	三・三五	三・五九
骨量	八・一五	八・九六	一〇・五八	一二・二二	一三・二三
内臓量	九・四六	一〇・二七	一三・三四	一三・八四	一三・二五
放血量	二・三七	二・五九	三・一五	三・二五	四・一三

五　筋肉中蛋白質の含量は左の如く桃園雜種最も多く「バークシャー」種之に次ぎ小耳種小耳雜種及桃園種と相順次せり。

桃園雜種	バークシャー種	小耳種	小耳雜種	桃園種
二一・三八%	二〇・八六%	二〇・八一%	一九・八一%	一七・八〇%

六　筋肉中脂肪の含量は左の如く「バークシャー」種最も多く桃園雜種之に次ぎ桃園種小耳種及小耳雜種と相順次せり。

バークシャー種	桃園雜種	桃園種	小耳種	小耳雜種
一〇・一四	四・〇一%	三・九一%	三・五九%	二・八六%

七　脂肪の溶融點は左の如く桃園種及小耳雜種最も高く「バークシャー」種及桃園雜種之に次ぎ小耳種最も低し。

桃園種	小耳雜種	バークシャー種	桃園雜種	小耳種
五一・〇度	五一・〇度	五〇・〇度	五〇・〇度	四七・〇度

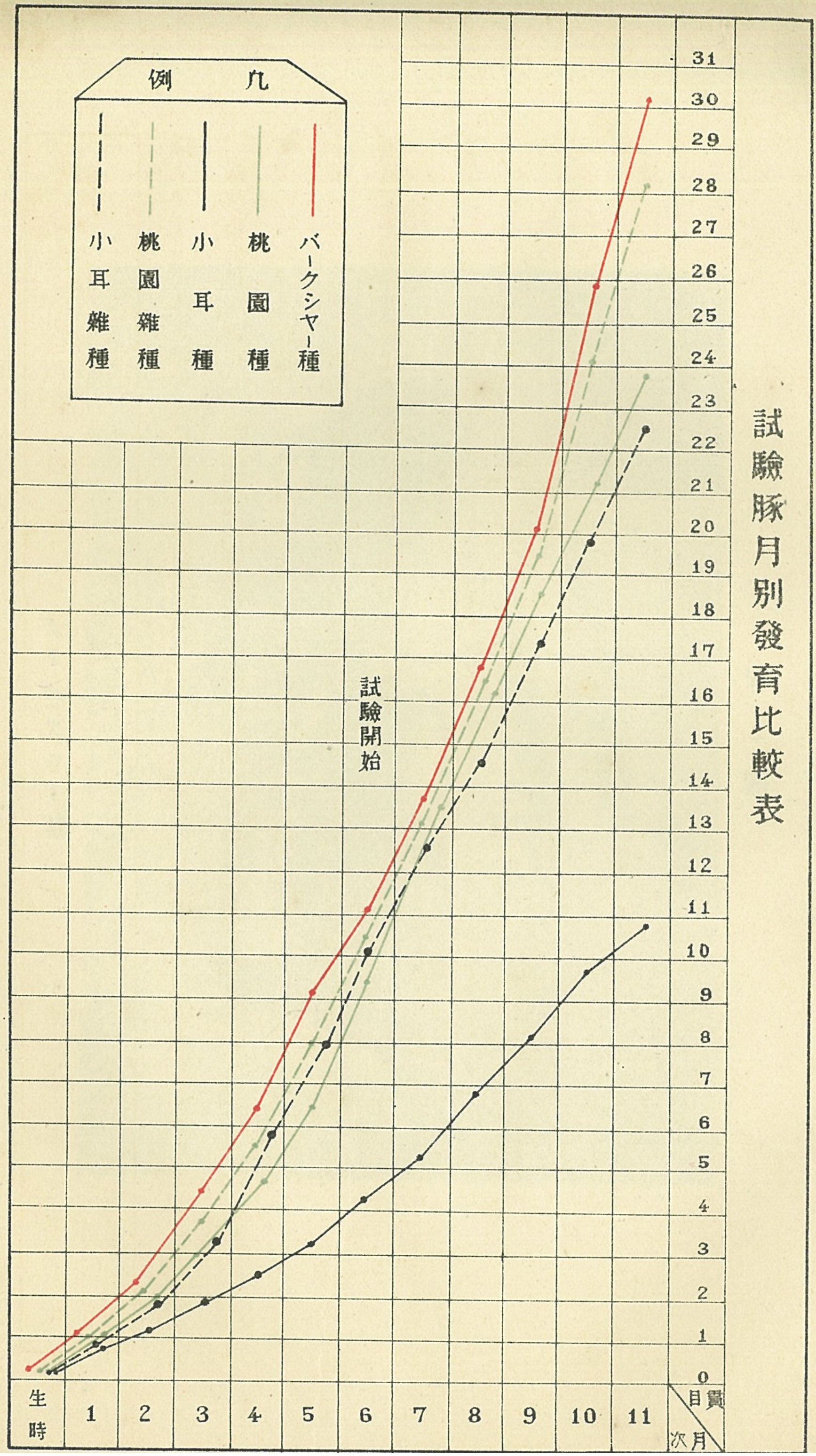
八　脂肪の凝固點は左の如く桃園種及桃園雜種同一にして最も高く「バークシャー」種之に次ぎ小耳雜種及小耳種と相順次せり。

桃園種	二九・〇度
桃園雜種	二九・〇度
バークシャー種	二八・五度
小耳雜種	二八・〇度
小耳隊	二七・五度

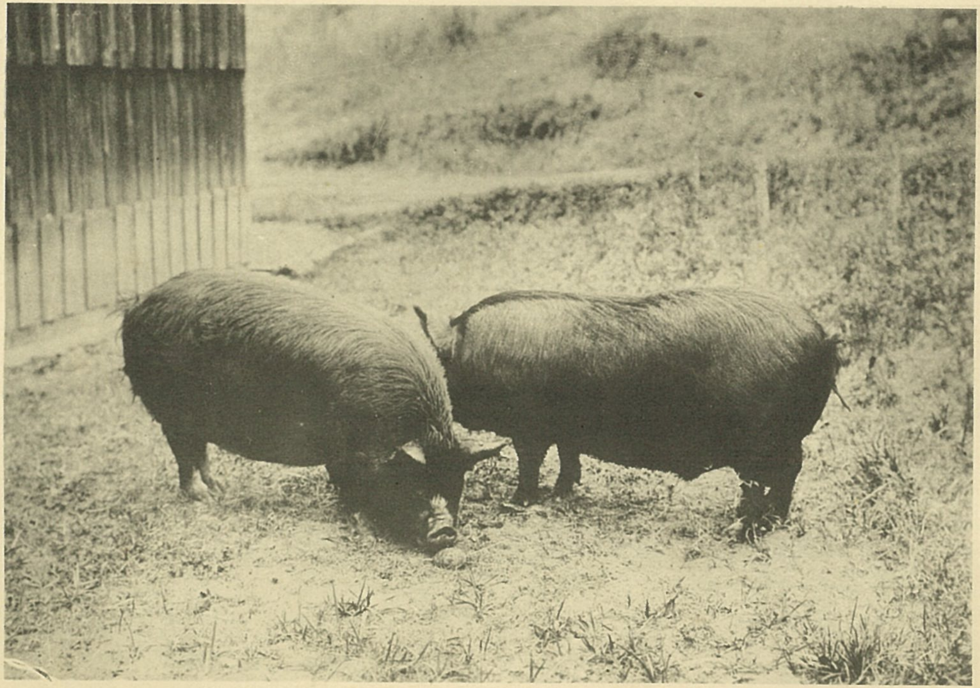
以上要するに本試驗の成績は總ての點に於て「バークシャー」種及其雜種は在來種に比し優良なるのみならず、從來市街地附近にして殘飯殘滓の豐富なる場所に非らざれば飼養し難きものゝ如く考へられし「バークシャー」種も、本成績により其否らざることをも首肯するに足るべし。

本試驗施行に當り指導を受けたる畜產科長柳川技師並に作業に當り助力を與へられし元技手三代杉藏元雇張萬元元雇松井隆式の諸氏に對し感謝の意を表す。

試驗豚月別發育比較表

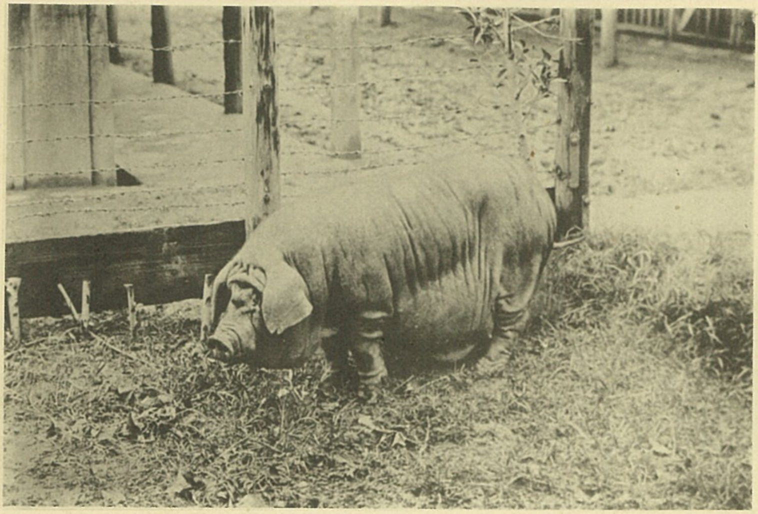

凡例
バークシヤー種
桃園種
小耳種
桃園雜種
小耳雜種
試驗開始
貫目
月次
生時 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

第一圖

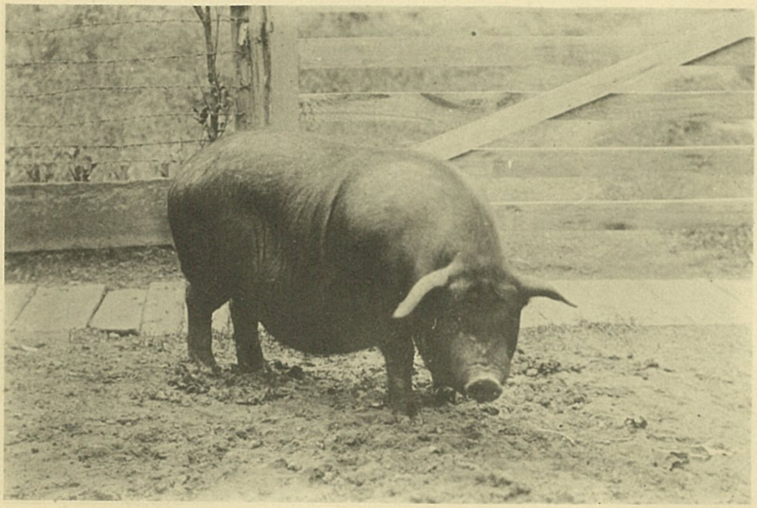


バークシャー種

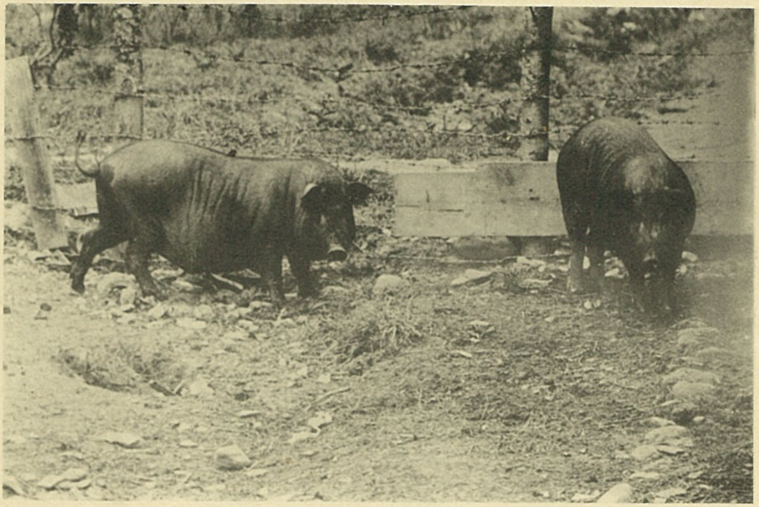
第二圖 桃　園　種



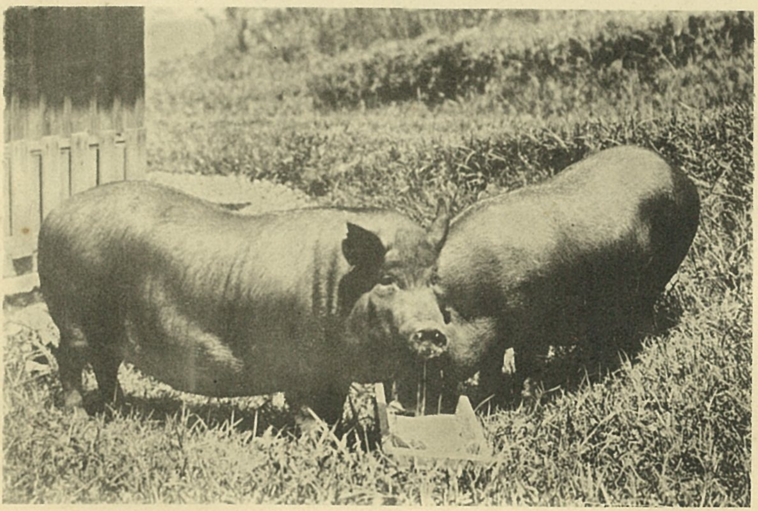
第三圖 父、バークシヤー 母、桃　園 一代雜種



第四圖　小　耳　種



第五圖　父、バークシャー　母、小　耳　一代雜種



昭和二年十月十一日印刷
昭和二年十月十三日發行

臺灣總督府中央研究所

臺北市榮町三丁目十二番地
印刷人　加藤豐吉

臺北市京町一丁目四十三番地
印刷所　小塚本店印刷工場